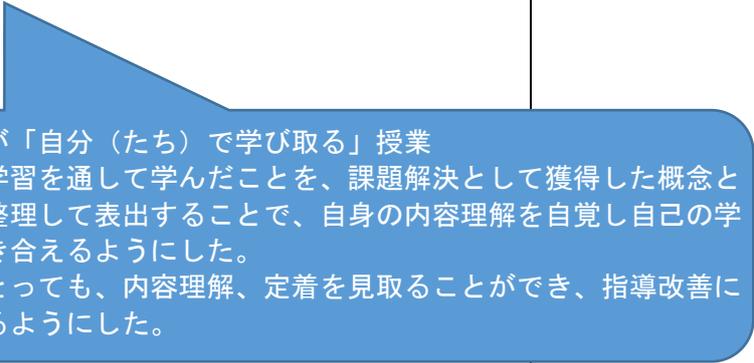
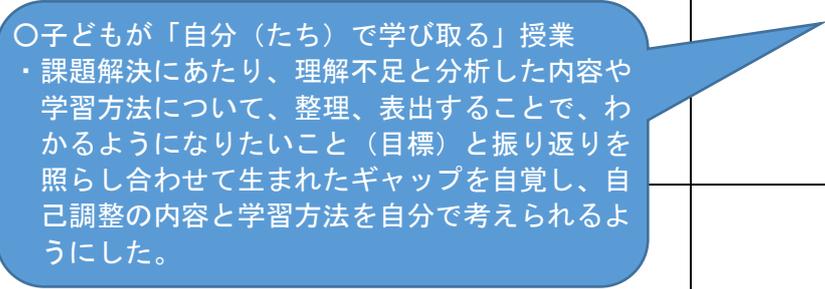


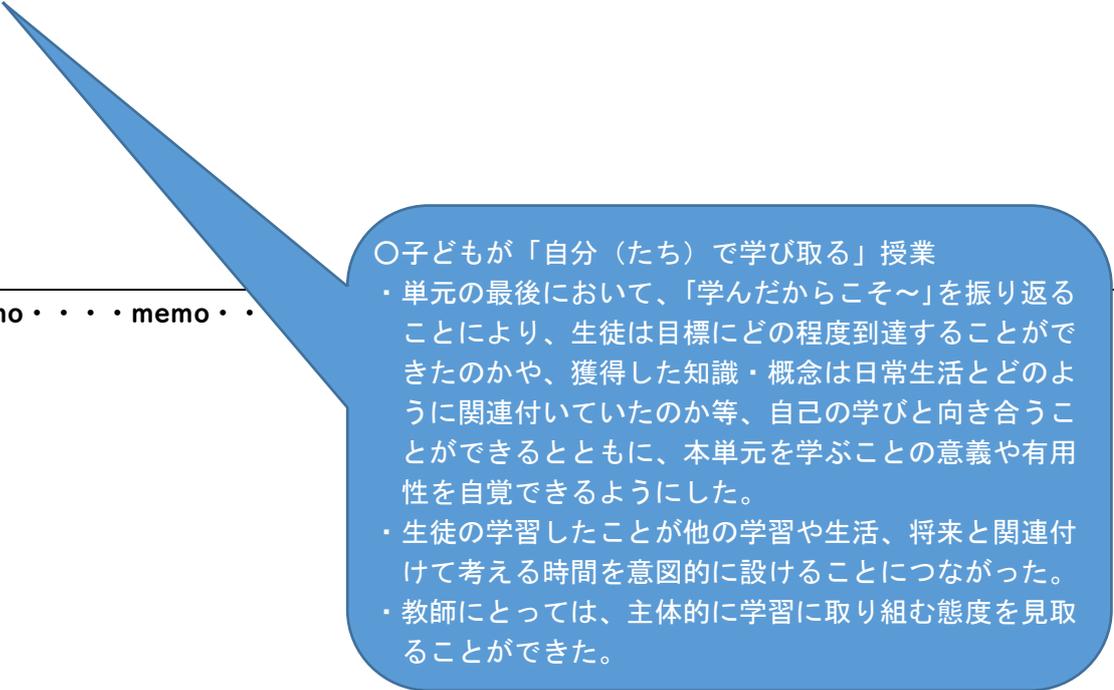
【生徒に配付したワークシート】中学校第2学年・理科「気象とその変化」

● 単元の目標		
① 気象要素と天気の変化の関係に着目しながら、気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ② 気象とその変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現する。		
● 単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害を切りしているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	気象とその変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現している。	気象とその変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しを持って振り返ったりするなど、科学的に学習しようとしている。
● 単元の学習を通して、分かるようになりたいこと、知りたいこと		
<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> ○子どもの「興味・関心」や「問い」を大事にした授業 ・生徒は、教師からの説明を受け、自身で単元を通して、わかるようになりたいことを明確にすることで、学びの目的をもてるようにした。 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> ○子どもが安心して、進んで取り組める授業 ・教師から単元の目標や評価基準を提示（ワークシートとして配付）、さらにできるようになることを具体的に説明することで、学びの到達点をイメージさせ、学習の見通しをもたせられるようにした。 ・単元導入では「気象予報士の解説がわかるようになるよ」「天気予報が自分でできるようになるよ」と説明した。 </div>		
● 振り返り		
課題	振り返り B：課題を解決することができる A：どのような見方・考え方をつかって問題を解決したのかを振り返りに書いている (例：○○と△△とを関連付けると～～ということがわかった) S：A＋自分の生活やこれまでの学習と結び付けている (例：○○の単元で考えた～～という考えが△△ということにもつながると考えた)	・よく分からなかったこと ・復習が必要なこと ・こんな勉強方法をしたらいと思う
【1章】 気象要素や気圧とは何だろうか？	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> ○子どもの「興味・関心」や「問い」を大事にした授業 ・各章の学習前に、章を貫く課題（教科書に記載の課題）を質問し、学習前の自分の既存知識と既存概念を確認することで、課題を明確化し、わかるようになりたいことの目標をもって学習に臨めるようにした。 </div>	
【2章】 空気中の水は、どのような変化をするのだろうか？		

<p>【3章】 気圧の変化や低気圧の動きは、天気の変化とどのように関係しているのだろうか？</p>	 <p>○子どもが「自分（たち）で学び取る」授業 ・生徒は学習を通して学んだことを、課題解決として獲得した概念と知識を整理して表出することで、自身の内容理解を自覚し自己の学びに向き合えるようにした。 ・教師にとっても、内容理解、定着を見取ることができ、指導改善に生かせるようにした。</p>	
<p>【4章】 日本の気象は、どのような特徴があるのだろうか？</p>	 <p>○子どもが「自分（たち）で学び取る」授業 ・課題解決にあたり、理解不足と分析した内容や学習方法について、整理、表出することで、わかるようになりたいこと（目標）と振り返りを照らし合わせて生まれたギャップを自覚し、自己調整の内容と学習方法を自分で考えられるようにした。</p>	
<p>【5章】 気象現象による災害と恵みにはどのようなものがあるだろうか？</p>	<p style="text-align: center;">冬休みの宿題</p>	

● 学んだからこそ、さらに不思議に思ったこと・さらに詳しく探求してみたいと思ったこと

・・・ memo ・・・ memo ・・・



○子どもが「自分（たち）で学び取る」授業
・単元の最後において、「学んだからこそ～」を振り返ることにより、生徒は目標にどの程度到達することができたのかや、獲得した知識・概念は日常生活とどのように関連付けていたのか等、自己の学びと向き合うことができるとともに、本単元を学ぶことの意義や有用性を自覚できるようにした。
・生徒の学習したことが他の学習や生活、将来と関連付けて考える時間を意図的に設けることにつながった。
・教師にとっては、主体的に学習に取り組む態度を見取ることができた。